

防災・減災を政治の主流に 流行している風しん対策の充実を



2018年11月26日、安倍晋三首相が出席した予算委員会で質問に立ちました。

平成30年7月豪雨や北海道胆振東部地震など、全国各地で相次いだ大規模な自然災害を受けて、重要インフラの緊急点検、第二次補正予算の意義を安倍首相に質しました。

首相は、「インフラ総点検の結果などを受けて、防災・減災、国土強靱化の3カ年緊急対策を取りまとめ、集中的に実施する。速やかに着手すべき喫緊の課題に対応するよう必要な予算を確保する」と答弁。さらに石井啓一国土交通相へは、災害時の電柱倒壊を回避するための無電柱化の着実な推進や、首都圏に甚大な被害をもたらす水害への万全の備えを求めました。

また、この冬は風しん患者が2,000人を超え、大流行の兆しを見せています。妊娠初期の女性が風しんにかかると胎児にも感染し、難聴や心疾患などの「先天性風しん症候群」を引き起こす可能性が高くなります。今回の流行では、男性の患者数が女性の4.4倍に達することがわかっており、その多くは30代から50代。働き盛りの男性が流行の中心にいるのが特徴です。最大の要因は、風しんの定期接種が1995年3月まで、中学生女子のみを対象としてきたことにあります。現在39歳以上の男性は、予防接種を一度も受けたことがない可能性が高いことから、この層への対策を強く主張しました。

根本匠厚生労働相から大変前向きな答弁を引き出すことができ、その後の検討で39歳から56歳までの男性は予防接種法に基づく定期接種の対象に加えられ、抗体検査とワクチンの接種が今後3年間、原則無料で実施されることになりました。

平木が実現

現場第一主義。被災者の声に寄り添う

1 2014年2月、記録的豪雪となった山梨県の被災地に急行。「自力での営農再開は困難」との農家の切実な声をもとに、セーフティネット貸付の無利子化、壊れたビニールハウスの撤去費用の助成などを実現。また、復興大臣政務官として、東日本大震災の風評被害の払拭へ、東京電力福島第一原発の敷地内を調査。地下水の流入を防ぐ「凍土遮水壁」の完成をリード。

活力ある社会へ中小企業を支援

2 経済産業大臣政務官に就任以来、IT(情報技術)ツールの活用を進めるための「IT導入補助金」の推進や、最先端のものづくりや観光、農業などの分野に意欲的に挑戦する企業を応援する「地域未来投資促進法」の活用を後押し。中小企業の経営課題にワンストップ(1カ所)で応じる「よろず支援拠点」の拡充を訴えるなど、現場に役立つ支援策の実現に心を砕く。

平和外交やエネルギー変革に尽力

3 堪能な英語、スペイン語を駆使し、議員外交の要役で活躍。初当選以来20カ国以上を訪問する中、海外での地雷除去支援にも一貫して取り組むなど、平和外交に努めてきた。2018年4月には日本政府を代表して豪州を訪問。「究極のクリーンエネルギー」とされる水素を活用した社会の実現へ、脱炭素化に向けたプロジェクトを豪州とともに始動。世界を舞台に日本のエネルギーの変革に挑む。

PROFILE

1974年長野県生まれ。東京都出身。東京大学法学部卒。IESEビジネススクール経営学修士(MBA)。米シティバンクを経て、戦略系コンサルティング会社で企業再生や海外市場戦略の策定などに従事。2018年10月まで経済産業大臣政務官、内閣府大臣政務官、復興大臣政務官を務める。公明党青年委員長、同広報局長。参議院議員1期。

ホームページ
<http://hiraki.komeinet.com/>

ツイッター
https://twitter.com/Hiraki_Daisaku

フェイスブック
<https://www.facebook.com/Hiraki.Daisaku>

メルマガ会員募集中!

下のQRコードから、またはアドレスへ空メールを送り、登録をお願いします。



daisaku_hiraki@m.bmb.jp



参議院議員



平木だいさく NEWS

2019年
新春号

HIRAKI DAISAKU NEWS

発行日: 2019年1月 発行元: 公明党参議院比例区第3総支部 千葉県船橋市湊町1-7-4 B号室

◆勝負の年◆

平成が幕を下ろし、新たな時代が始まろうとしています。

自動運転は実用化に向けたステージに入り、『空飛ぶクルマ』が真剣に議論されています。遺伝情報などを活用した医療の急速な進歩は、

これまで治療が難しいとされてきた癌や難病の克服を可能にしつつあります。

宇宙旅行には既に予約が殺到。人類の火星到達も時間の問題かもしれません。

わくわくする未来がやってくる。

しかし、そんな期待の一方で、世界は激動の時代を迎えています。

強く大型化した台風や高潮、活発化した地震活動は、

昨年の日本にも大きな爪痕を残しました。

貿易戦争とも称される対抗措置の応酬で、世界経済の先行きには暗雲が垂れ込めています。

世界中でやまない地域紛争は、難民問題として各国の政治を揺さぶり続けています。

こんな混迷の時代だからこそ、政治の果たすべき使命は大きく、公明党の存在も光り輝くものと確信してやみません。

春には統一地方選、夏には私も再選を目指す参院選を迎えます。

皆様とともに未来をひらくために、真つ向勝負で論戦に挑み、全てに勝ちきる一年にしてまいります。

参議院議員 平木大作

平木の政策ビジョン

1 | 世界とともに成長する日本をつくる

- ・海外での販路開拓や物流を支援し、日本の中小企業がもつ優れた商品やサービスの世界展開を後押しします。
- ・起業しやすい環境整備を進めるとともに、経営者保証に依存した融資慣行を改め、再チャレンジしやすい社会をめざします。

2 | 一人ひとりが輝く社会をつくる

- ・就業環境や法律の整備を通じて、若者、女性、シニアや障害者をはじめ、全ての人が活躍できる社会をめざします。
- ・AI、ロボット、情報通信技術等を活用した『働き方革命』で、人手不足の解消とワークライフバランスの実現に取り組みます。

3 | 生涯学べる社会をつくる

- ・若者が思う存分学び、最大限に力を発揮できるよう、更なる教育負担の軽減を実現します。
- ・社会人になってからも学び直しができる機会を増やし、『人生100年時代』に適応した複線型キャリア形成を応援します。